

(たけおし) (かしまし) (うれしのし) (おおまちちょう) (こうほくまち) (たらちょう)

集出荷施設の再編整備と基盤整備により、所得を向上 【佐賀県武雄市、鹿島市、嬉野市、大町町、江北町、太良町】

目標: 販売額の増加 整備内容: 集出荷貯蔵施設、用排水路

【工夫のポイント】

- 集出荷施設の再編整備による集出荷コストの削減
- 新選果システム導入により労力軽減を図り、栽培面積拡大が可能に
- 多収栽培技術の普及や高機能施設の導入による単収増加

【取組地域の概要】

- 位置
佐賀県 武雄市、鹿島市、嬉野市、大町町、江北町、太良町(特定農山村、過疎)

さがみどり地区



- 主要作物
・きゅうり、トマト、みかん、中晩柑、たまねぎ

- 主な支援施策
・強い農業づくり交付金(国)
・産地パワーアップ事業(国)
・果樹経営支援対策事業(国)

生産現場

単収の増加

- きゅうり・トマト
夏場の猛暑や台風に近い耐候性ハウスを導入することで、収穫期間の延長が可能に
統合環境制御技術(※)の導入により、光合成能力の向上に向けたこまめな管理が可能となり、生産量が増加
(※)・・・外気温、ハウス内温度、湿度、炭酸ガス濃度、日射量等を測定し、植物の光合成や養分の転流に最適な状態にするための制御技術
- キウイフルーツ
計画的な改植と、適正な肥培管理により、早期成園化が可能となり、生産性が向上

流通

集出荷貯蔵施設の整備

- 新選果システムを導入し、選別作業等が省力化され、余剰時間を活用することにより、栽培面積の拡大が可能に
- 3か所に分かれていた集出荷施設の統合により、人件費等の施設運営コストの削減が可能に



担い手

新規就農者の確保と担い手への樹園地集積

- トレーニングファーム(※)を核として、地域が一体となって就農希望者の技術習得から就農までを支援
(※)・・・新たに就農しようとする者が、模擬的な農場経営をしながら農業技術や経営方法の習得をするための研修施設
- 農地中間管理事業を活用し、担い手へ樹園地を集積

基盤整備

用排水路の改良等生産基盤の整備

- 土水路の用排水路をコンクリート水路に整備し、水路機能を向上させ、維持管理等の労力軽減を図る
- 樹園地の傾斜の緩和や園内道の整備等により、作業性の向上を図る

集出荷貯蔵施設整備と基盤整備を組み合わせて販売額を向上

- 集出荷貯蔵施設の再編整備により農家の規模拡大が進むとともに、出荷ロットと鮮度が向上し販売力強化が可能に
- 栽培技術の向上や高機能施設の導入により、単収が増加



- 用排水路の整備により、水路維持管理に係る労力とコストが軽減され、農家は自らの農業経営に注力

